

2026年3月期 第1四半期決算説明会

2025年7月28日
株式会社エンプラス
(東証プライム 6961)

目次

決算概況

- 2026年3月期 第1四半期 決算説明
- 2026年3月期 業績見通し
- 事業戦略
- 参考:中期経営計画

決算概況

決算のポイント

2026年3月期 第1四半期 損益実績

- 前年同期比は減収減益も、**期初想定を上回る**着地
- 米国の**相互関税の直接的な影響**(当社の関税負担)は**限定的**

Semiconductor事業

- 1Qは**期初想定から上振れ**(1Q実績の**上期対外公表値**に対する**進捗率64%**)
- 2023/3期 4Q以来9四半期ぶりの高水準(**サーバー、モバイル、車載SoCが好調**)
- 2Qもサーバー、モバイルが好調、**1Qを上回る見通し**(AI用サーバー向けは大手GPUメーカーに加えて、ハイパースケーラー向けの**ASIC関連の案件が増加**する見通し)

Life Science事業

- 2Qに**大口案件出荷見通し**(1Q売上高:5億円 → 2Q売上高見通し:約20億円)

Digital Communication事業・Energy Saving Solution事業

- 新規製品は受注済だが、**量産開始は下期の見通し**

2026年3月期 第1四半期損益実績(連結)

(単位: 百万円)

	2025/3期	2026/3期	増減	(参考) 上期計画
	1Q実績	1Q実績		
売上高	10,601	8,999	-15.1%	18,900
売上原価率	50.9%	55.7%	+4.8pt	59.3%
営業利益	2,153	905	-58.0%	1,200
営業利益率	20.3%	10.1%	-10.2pt	6.3%
経常利益	2,334	825	-64.6%	1,400
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,518	362	-76.1%	1,000
1株当り四半期純利益	172.00円	41.03円	-130.97円	113.19円
期中平均レート(US\$)	156.51円	145.17円	-11.34円	(計画レート) 140.00円

為替感応度(US\$):売上高 約200百万円/年、営業利益 約150百万円/年

2026年3月期 第1四半期セグメント別実績(連結)

(単位: 百万円)

		2025/3期	2026/3期	増減
		1Q実績	1Q実績	
Semiconductor	売上高	4,570	4,888	+7.0%
	売上原価率	49.8%	48.5%	-1.3pt
	営業利益	719	866	+20.5%
Life Science	売上高	766	516	-32.6%
	売上原価率	57.4%	61.6%	+4.2pt
	営業利益	115	-10	-
Digital Communication	売上高	1,705	420	-75.3%
	売上原価率	19.9%	52.7%	+32.8pt
	営業利益	1,065	-43	-
Energy Saving Solution	売上高	3,558	3,173	-10.8%
	売上原価率	65.7%	66.1%	+0.4pt
	営業利益	253	92	-63.6%

連結四半期損益実績推移

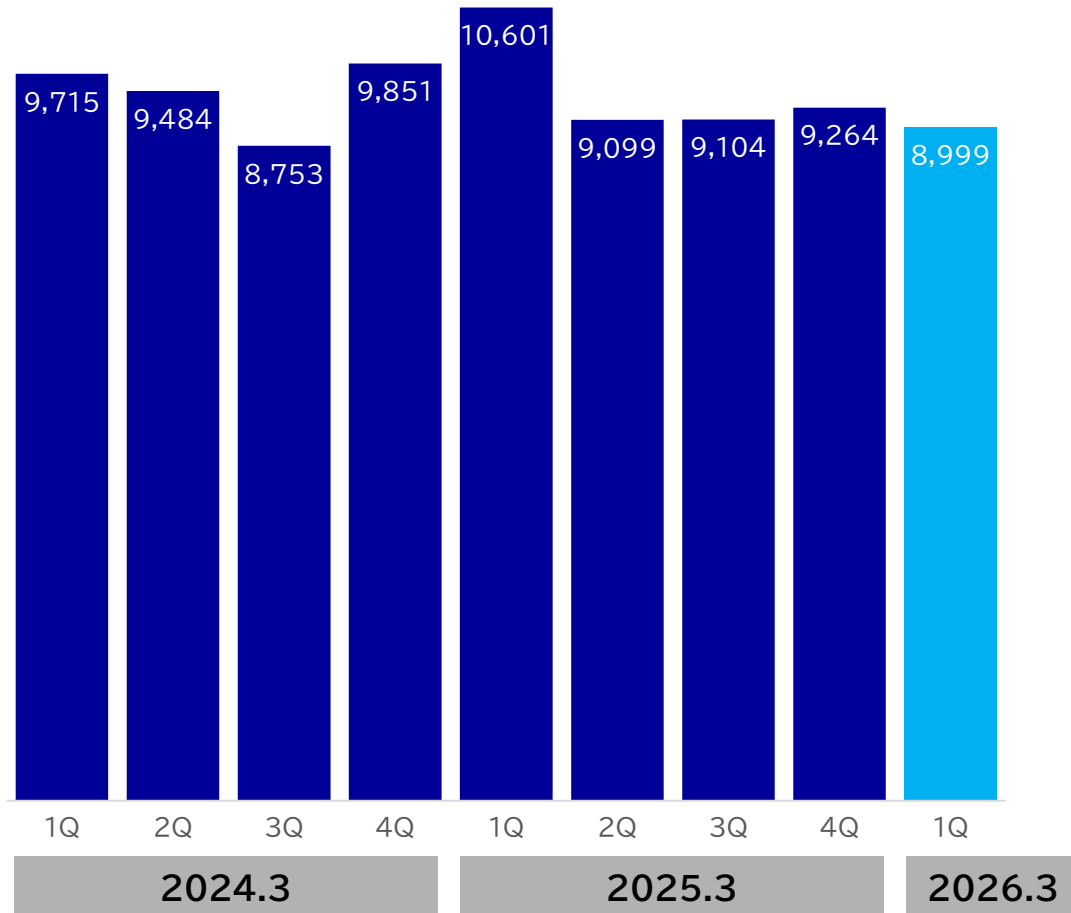
(単位: 百万円)

	2025/3期				2026/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	10,601	9,099	9,104	9,264	8,999
売上原価率	50.9%	52.7%	58.4%	55.0%	55.7%
営業利益	2,153	1,200	729	1,203	905
営業利益率	20.3%	13.2%	8.0%	13.0%	10.1%
経常利益	2,334	810	1,166	1,135	825
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,518	576	777	1,071	362
1株当り四半期純利益	172.00円	65.23円	88.02円	121.26円	41.03円

連結四半期損益実績推移

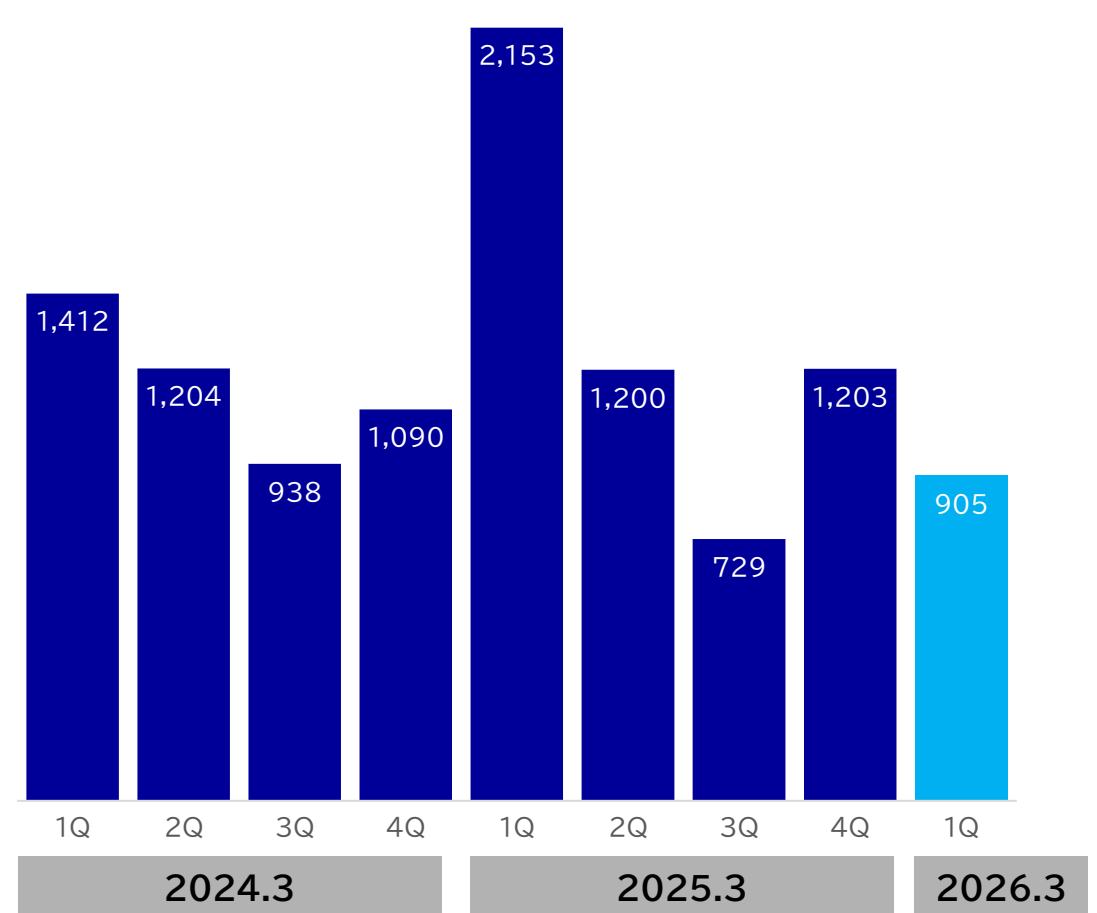
<売上高の推移>

(単位: 百万円)



<営業損益の推移>

(単位: 百万円)



参考:セグメント別四半期損益実績推移(連結)

(単位: 百万円)

		2025/3期				2026/3期
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
Semiconductor	売上高	4,570	3,686	3,730	4,136	4,888
	売上原価率	49.8%	51.2%	56.3%	52.8%	48.5%
	営業利益	719	302	87	420	866
Life Science	売上高	766	704	638	944	516
	売上原価率	57.4%	54.7%	75.6%	40.3%	61.6%
	営業利益	115	80	-69	326	-10
Digital Communication	売上高	1,705	1,272	1,131	784	420
	売上原価率	19.9%	22.1%	26.2%	30.5%	52.7%
	営業利益	1,065	637	518	262	-43
Energy Saving Solution	売上高	3,558	3,436	3,604	3,398	3,173
	売上原価率	65.7%	65.2%	67.7%	67.4%	66.1%
	営業利益	253	179	192	195	92

決算総括

➤ 販売管理費

(単位: 百万円)

2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	差異
3,053	3,084	+31

➤ 研究開発費 +32百万円

➤ 営業外損益

(単位: 百万円)

2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	差異
181	-80	-261

➤ 2026/3期 1Q: 為替差損 157百万円(2025/3期 1Q 為替差益 78百万円)

➤ 特別損益

(単位: 百万円)

2025/3期 1Q	2026/3期 1Q	差異
-192	-188	+4

➤ 2026/3期 1Q: 事業再構築費用 198百万円(2025/3期 1Q 事業再構築費用 204百万円)

2026年3月期 連結業績見通し

2026年3月期 連結業績見通し

(単位: 百万円)

	2026/3期	2026/3期	
	1Q実績	上期計画	通期計画
売上高	8,999	18,900	38,000
売上原価率	55.7%	59.3%	58.9%
営業利益	905	1,200	2,500
営業利益率	10.1%	6.3%	6.6%
経常利益	825	1,400	3,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	362	1,000	2,100
1株当り当期純利益	41.03円	113.19円	237.69円
配当金	-	40.00円	80.00円

※2025年4月30日の業績見通しから変更しておりません。(事業計画レート(US\$):140.00円)

2026年3月期 セグメント別売上見通し

(単位: 百万円)

	2026/3期(4月時点)		2026/3期(修正)	
	上期計画	通期計画	上期計画	通期計画
Semiconductor	7,600	16,600	9,000	19,000
Life Science	2,700	3,200	2,500	3,000
Digital Communication	1,300	3,200	900	2,300
Energy Saving Solution	7,300	15,000	6,500	13,700

2026年3月期 連結業績見通しの変化点

- 外部環境が変化する中でも中期経営計画の実現に向けた取り組みを着実に実行
- 2026/3期 1Qの米国相互関税の影響は限定的(顧客に価格転嫁を進める方針)

	2026/3期 1Qレビュー	今後の方向性
Semiconductor	<ul style="list-style-type: none"> • 2026/3期 1Qはサーバー、モバイル、車載SoCが好調 • 2026/3期 2Qもサーバー、モバイルが好調の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> • AI用サーバー向けソケットが好調に推移する見通し • 2026/3期 上期は大手GPUメーカーに加えて、ハイパースケーラー向けのASIC関連の案件が増加する見通し
Life Science	<ul style="list-style-type: none"> • 一部量産品の生産終了に伴い2026/3期 2Q偏重の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> • マーケティング活動強化による新規顧客/新規製品の獲得 • 既存事業の収益性強化
Digital Communication	<ul style="list-style-type: none"> • 顧客の次世代製品(1.6T光トランシーバー)の量産開始が遅延 • 新規顧客の非光トランシーバー向け新規製品は受注できたものの、量産開始は2026/3期 下期以降の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> • 2026/3期 下期に左記を含む新規製品の量産開始予定 • 大手レーザー(VCSEL)メーカーと共同でマーケティングを開始
Energy Saving Solution	<ul style="list-style-type: none"> • 2025/3期好調だったプリンター用部品が減収 • 自動車用部品は新規製品の量産の遅れにより減収 	<ul style="list-style-type: none"> • 自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスを推進 • Electric / Electronics領域における新商材の開発推進

参考:2026年3月期 設備投資・減価償却・研究開発の見通し

(単位: 百万円)

	2025/3期	2026/3期	2026/3期
	通期実績	1Q実績	通期計画
設備投資	6,944	1,009	7,500
長期投資・環境投資	3,872	19	3,800
成長分野への投資	1,213	118	2,200
その他の設備投資	1,859	872	1,500
減価償却	2,417	524	2,500
研究開発	1,502	372	1,600

※2025年4月30日時点の見通しから変更していません。

事業戦略

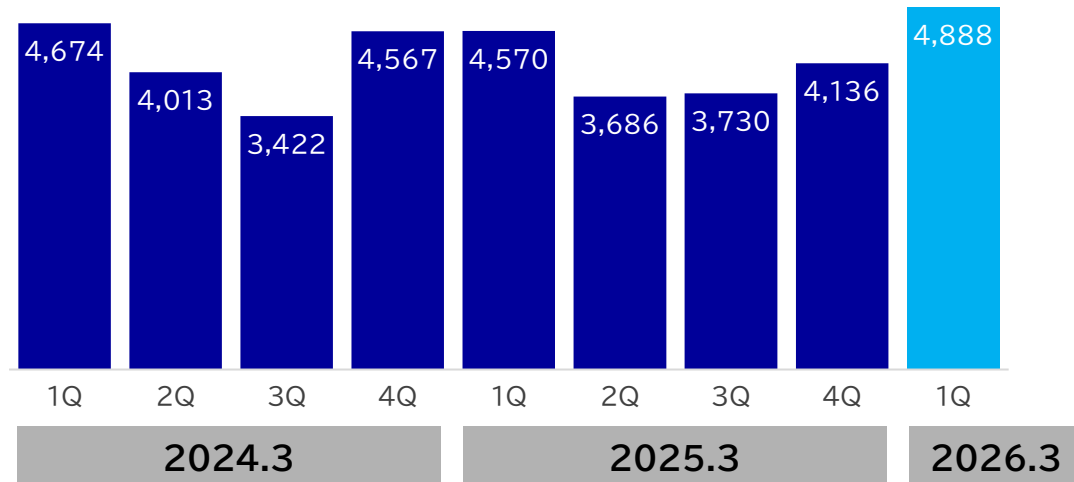
Semiconductor事業

事業戦略

- ① 事業機会を最大限に取るために米国を中心としたマーケティング投資拡大
- ② 特定技術領域の武器を磨き、成長市場におけるバリューチャンピオンを目指す
 - 成長市場: AIサーバー、汎用サーバー、モバイル、車載SoC
 - Test Socket: 次世代半導体のテスト市場へ参入
- ③ 事業環境の変化に柔軟に対応するサプライチェーン構築

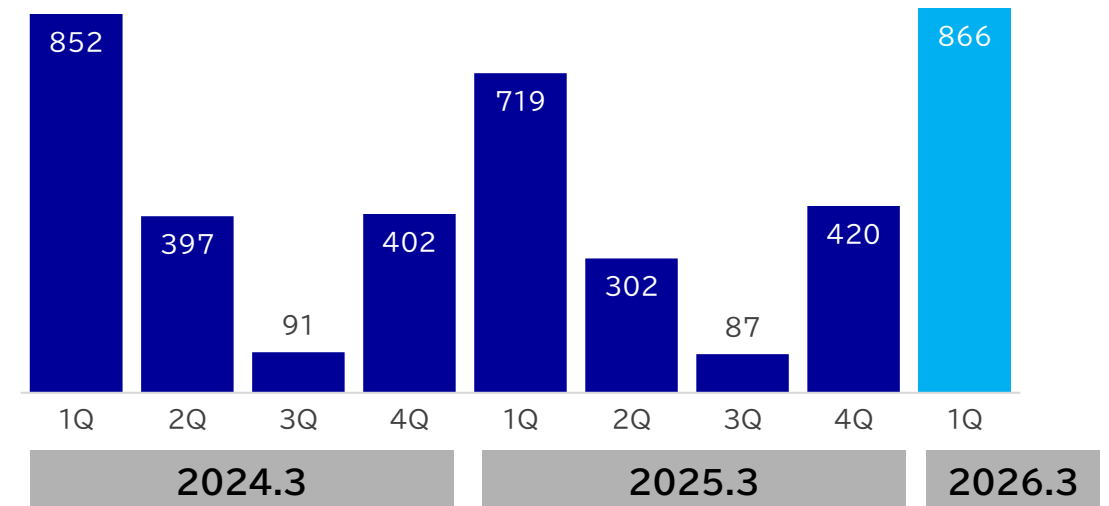
<売上高の推移>

(単位: 百万円)



<営業損益の推移>

(単位: 百万円)



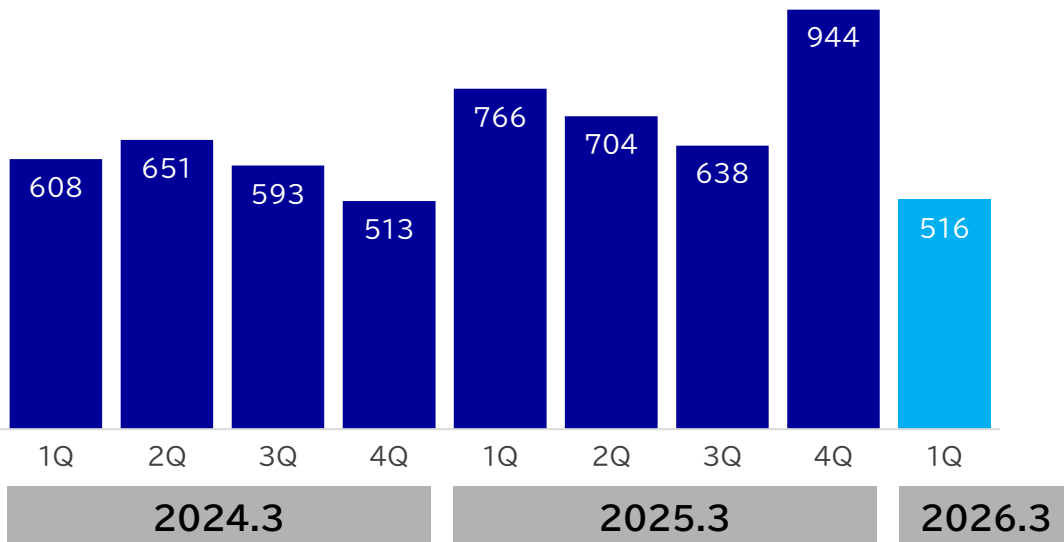
Life Science事業

事業戦略

- ① リキッドバイオプシー・がん診断用途デバイスにフォーカス
- ② マイクロ流路チップ領域での新用途開発の推進
- ③ 既存顧客ネットワークの深堀
- ④ 機能評価と流体制御技術で付加価値を提供

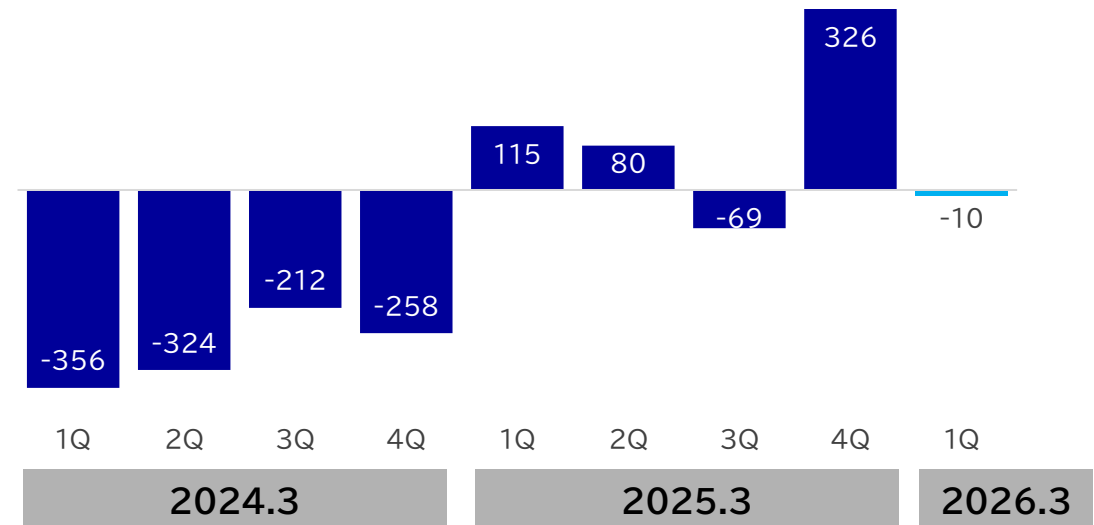
<売上高の推移>

(単位: 百万円)



<営業損益の推移>

(単位: 百万円)



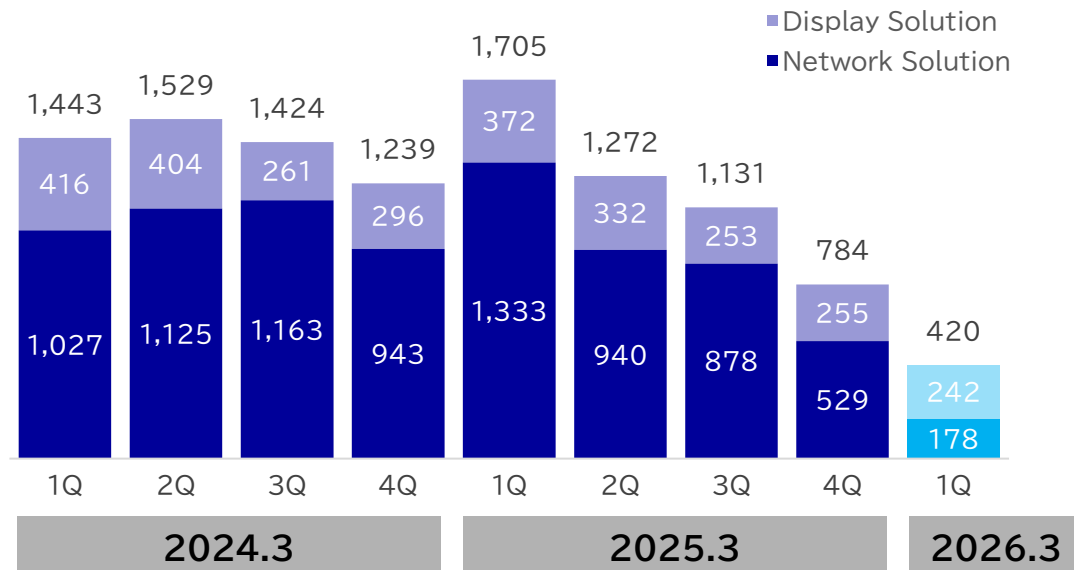
Digital Communication事業

事業戦略

- ① VSR(短距離通信)市場のイノベーションを創出
- ② 大規模データセンターの課題解決(熱、故障、互換性)への貢献
- ③ マーケティング強化による光電融合分野、非光分野の新用途・製品開発
- ④ AIの社会実装により、今後成長が見込める市場(Network Solution、Display Solution)へ新たな価値(新機能、新製品)を提供

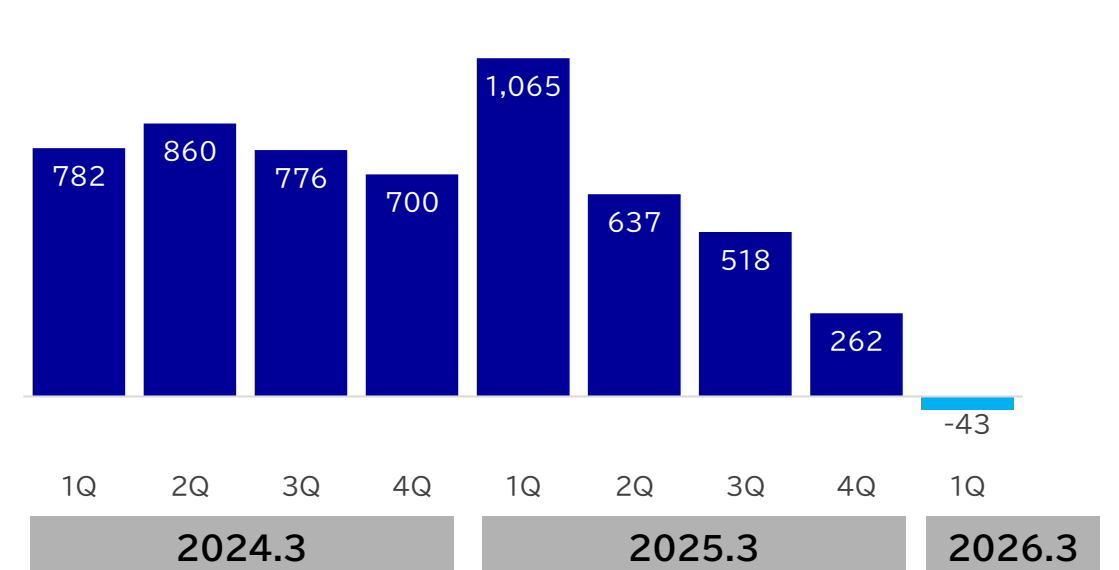
<売上高の推移>

(単位: 百万円)



<営業損益の推移>

(単位: 百万円)



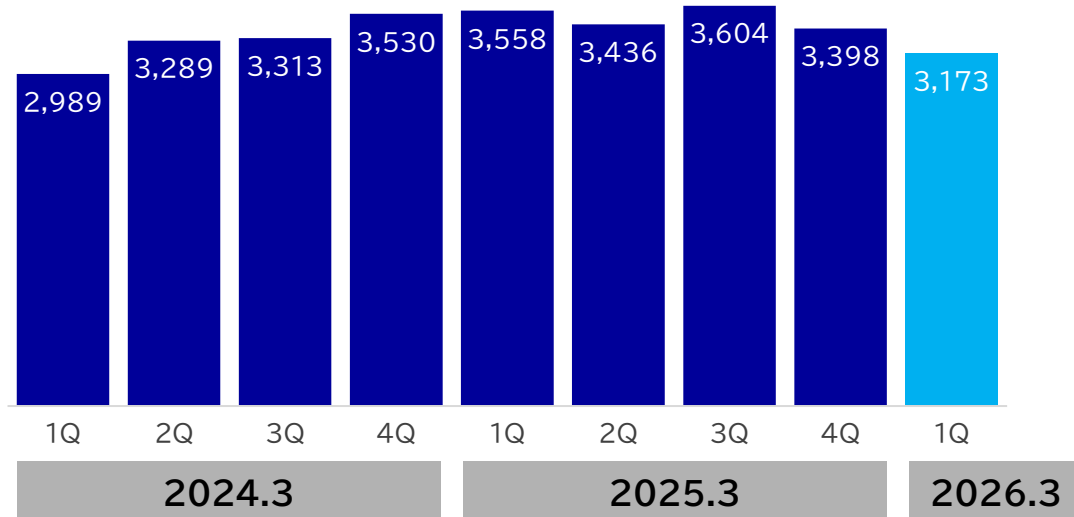
Energy Saving Solution事業

事業戦略

- ① 世界No.1のギヤソリューションプロバイダーを目指しビジネスモデルの変革を行う
- ② Electric / Electronics領域における新商材開発により新たな顧客価値を創出する
- ③ 既存ビジネスにおける収益力強化

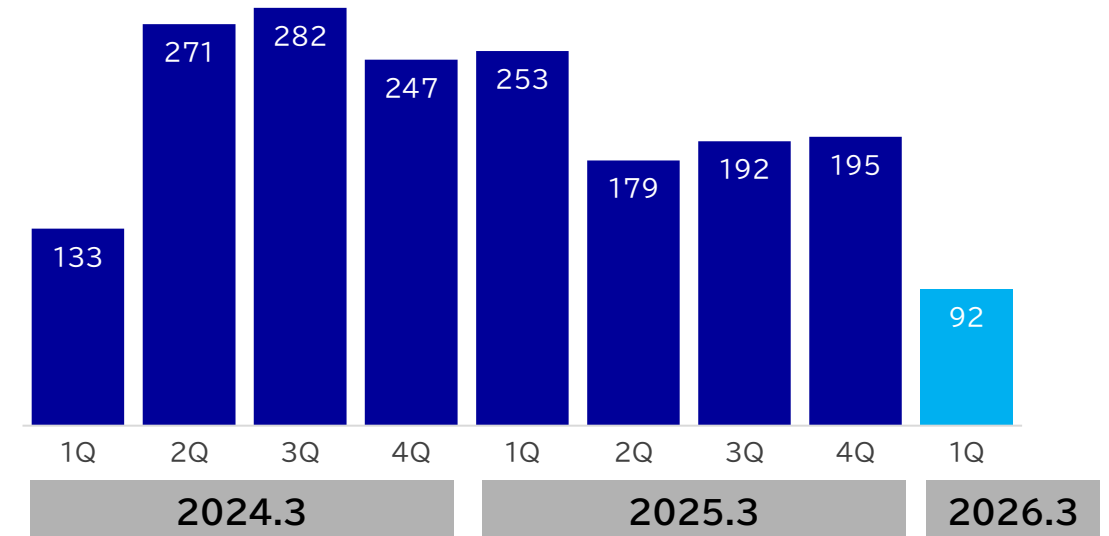
<売上高の推移>

(単位: 百万円)



<営業損益の推移>

(単位: 百万円)



参考: 中期経営計画

中期経営計画につきましては、2025/4/30に公表しております。

<https://www.enplas.co.jp/ir/mt/>

中期経営方針(2026/3期-2028/3期)

ソリューションプロバイダーとして顧客価値を創出する

スローガン

One Enplas for Growth

株式会社エンプラス 決算説明会

<https://www.enplas.co.jp/>
(東証プライム 6961)

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。